

次期福岡県総合計画において展開する施策（概要）

注1) アンダーラインは総合計画における新たな取組注2) アンダーラインは前回審議会から追加した新たな取組

基本方向 世界を視野に、未来を見据えて成長し、発展する

1 次代を担う「人財」の育成 ※本項目の見出しは、次代を担う人材を県の財産であり宝であると位置づけ、「人財」と記載

○ 学校教育の充実

- ・学力・体力の向上（「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、体を動かす習慣づくり、健康教育の推進）
- ・豊かな心の育成（道徳教育・人権教育の推進、実体験を重視した教育の推進）
- ・個性や能力を伸ばす教育の推進（子ども本位の指導の推進、特別支援教育の推進、キャリア教育・職業教育の充実）
- ・教育環境づくり（学校教育のICT化（日常的なICT活用や災害時等の「学びの保障」）、教員の指導力・学校の組織力の向上（ICT活用指導力の向上）、学校施設の整備・充実）

〔主な数値目標〕 全国学力・学習状況調査における学力上位層の構成割合が全国平均を上回る地区数（教育事務所別）

○ 未来へはばたく青少年の応援

- ・様々な体験・交流活動の推進（年齢の異なる仲間や大人との交流、社会体験・自然体験、地域と学校との連携）
- ・次世代のリーダーとなる青少年の応援（次世代リーダー養成塾、田川飛翔塾の県内各地への展開）
- ・次世代の競技者や芸術家の育成（強化活動の支援、タレント発掘、中央競技団体と連携した一貫指導、県有文化施設等を活用した人材育成）

〔主な数値目標〕 同一校区内にある放課後児童クラブとアンビシャス広場・放課後子供教室が連携して体験・交流活動を行っている割合

○ グローバル社会で活躍する青少年の育成

- ・世界にはばたく青少年の応援（海外体験プログラム・国際ワークキャンプ派遣）
- ・外国語能力の向上（ネイティブ教員・ALTの活用、英語イマージョン教育）
- ・異文化理解力・対応力の向上（ホームステイ受入、県立3大学における学術交流・留学生受入促進）

〔主な数値目標〕 C E F R A 1（公立中学校）及びA 2（県立高等学校）レベル相当以上を達成した生徒の割合

○ 産業人材の育成

- ・半導体・DX人材、新成長産業人材（バイオ、宇宙ビジネス、ブロックチェーン、IoT、水素）の育成
- ・ものづくり中小企業の中核人材、産業・企業や地域のニーズを踏まえた人材の育成（産業政策と一体となった人材育成、高等技術専門校における人材育成）
- ・観光産業人材、農林水産業人材の育成

〔主な数値目標〕 グリーン・デジタル産業分野でのイノベーションを生み出す中核人材の育成人数

2 世界から選ばれる福岡県の実現

○ 国内外からの戦略的企業誘致

- ・戦略的企業誘致の推進と受け皿整備の促進（世界的な半導体拠点の構築、大規模データセンター誘致、市町村と連携した産業団地整備、サテライトオフィス設置支援）、本社機能移転・拡充促進、グリーンアジア国際戦略総合特区推進
- ・知的拠点の形成（九大の研究成果・学研都市内の研究開発機能を活かした企業・研究機関の集積・創業の促進）
- ・国際金融機能の誘致（資産運用業者やF i n T e c h産業の集積）

〔主な数値目標〕 企業立地件数

○ 企業等の海外展開支援、海外からの誘客促進

- ・中小企業の海外展開支援（「福岡アジアビジネスセンター」海外展開ワンストップ支援、産業構造の特徴を踏まえた海外展開推進、海外事務所・駐在員の活用）
- ・県産農林水産物の輸出拡大支援（輸出先の市場ニーズ把握の強化、輸出向け産地の拡大）
- ・戦略的なインバウンド誘客による旅行消費の拡大（ターゲットを絞った誘客、トレンドを踏まえた情報発信）

〔主な数値目標〕 中小企業の海外展開成約件数、県産農林水産物の輸出額

3 ワンヘルスの推進

- ・人獣共通感染症対策（感染症発生動向調査、次世代医薬品研究開発）、薬剤耐性菌対策（発生動向調査、院内感染防止対策、抗微生物剤適正使用推進）
- ・環境保護（省エネ、再生可能エネルギー、森林荒廃防止、自然が本来持つ浄化作用や水循環機能の回復促進）
- ・人と動物の共生社会づくり（愛玩動物の管理と活用、災害対応、有害鳥獣対策）、自然と動物とのふれあいを通じた健康づくり、環境と人と動物のより良い関係づくり（環境保全型農業、地産地消・食育の推進）
- ・ワンヘルス実践の基盤整備（ワンヘルス教育、ワンヘルスセンター整備、アジア振興・人獣共通感染症センター（仮称）の設置・誘致推進）

〔主な数値目標〕 ワンヘルス宣言事業者登録数

4 移住定住の促進

- ・地域の基幹産業振興・雇用創出（中山間地域を支える多様な人材の確保、企業誘致）
- ・U I J ターン就職促進・テレワーク推進（Web活用型インターンシップ、協定締結大学と連携した就職支援、県内テレワーク拠点施設整備の取組支援）
- ・相談体制・情報発信の強化（AIチャットボット、ポータルサイト、移住コンシェルジュ支援、空き家利活用）、関係人口の創出・拡大

〔主な数値目標〕 県外からの移住世帯数

5 デジタル社会の実現

○ 地域社会と行政のデジタル化

- ・地域社会のデジタル化（医療・介護・子育て分野のICT利活用、デジタルデバイド対策、インフラ分野DX、DXによる犯罪・交通事故対策、5G環境県内全域整備と次世代通信技術の利活用検討）
- ・行政のデジタル化（行政手続きオンライン化、行政事務自動化・効率化、情報セキュリティ強化、マイナンバーの利用拡大・利便性向上）、様々な分野のデータの県の施策立案への活用

〔主な数値目標〕 国が示すオンライン化を推進すべき手続のオンライン化達成率

○ 産業のデジタル化

- ・デジタルプロジェクト推進、中小企業や農林水産業のDX推進、DX人材育成、大規模データセンター誘致

〔主な数値目標〕 中小企業におけるDXの実践割合

6 グリーン社会の実現

- ・温室効果ガスの排出削減と吸収源対策の推進（省エネ型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換）
- ・脱炭素化に資する産業の振興（再生可能エネルギー・水素エネルギーの導入・活用、洋上風力発電導入・風力発電関連産業の集積促進、電動車普及・促進、脱炭素に配慮した港湾機能の高度化）
- ・気候変動の影響への適応（農作物の品種開発・普及、流域治水、「福岡県気候変動適応センター」による分析・情報提供）

〔主な数値目標〕 温室効果ガスの総排出量の削減率、再生可能エネルギー発電設備導入容量

7 成長産業の創出

○ 新たな成長産業の創出

- ・バイオ産業拠点化（次世代創薬・再生医療等4分野の製品開発・ビジネス展開支援〔福岡バイオコミュニティ〕）
- ・ロボット・先端半導体、Ruby、ブロックチェーン等IT産業の振興（集積・拠点化、人材育成、製品開発支援）
- ・北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトの推進（生産拠点の成長、電動化、水素、自動運転）
- ・風力発電産業振興（風車メンテナンス人材育成、洋上風力発電促進区域早期指定）
- ・有機光エレクトロニクス研究開発拠点化、宇宙ビジネス・水素エネルギー・航空機関連産業の振興

〔主な数値目標〕 成長産業分野への新規参画企業数

○ 創業・ベンチャー支援

- ・ベンチャー支援（成長意欲の高い起業家の伴走支援、先端技術系ベンチャー支援）
- ・地域創業支援（ビジネスプランコンテスト、ベンチャーと市町村との協業支援）

〔主な数値目標〕 1億円以上の資金調達を行ったベンチャー企業数

基本方向 誰もが住み慣れたところで働き、長く元気に暮らし、子どもを安心して産み育てることができる

8 中小企業の振興

○ 経営基盤の強化

- ・生産性向上（DXの推進による業務効率化、専門家による伴走型支援、人手不足対策、経営改善、ICTの活用）、魅力ある職場づくりの促進
- ・産業人材育成（DX人材、ものづくり中小企業の中核人材、産業・企業や地域のニーズを踏まえた人材の育成）
- ・資金繰り支援（県制度融資）、販路開拓支援（DOCOREを活用したバイヤーとのマッチング、EC（eコマース）を活用した新たな販路開拓）、事業承継支援（事業承継ネットワーク）

〔主な数値目標〕 重点支援企業のうち売上または経常利益が向上した企業の数

○ 新たな事業展開の促進

- ・経営革新、商品開発・販路開拓（福岡から全国、世界へ通用するデザイン製品の創出）、海外展開支援
- ・技術高度化支援（プロフェッショナル人材確保、工業技術センター〔化学繊維、生物食品、インテリア、機械電子〕による製品・サービスの創出・改良）

〔主な数値目標〕 工業技術センターの企業への技術移転件数

- 小規模企業者の事業の持続的な発展
 - ・計画的な経営の促進、事業継続力の向上、商店街の活性化（商店街の機能複合化、「買い物場」としての機能強化）
 - ・生産性向上、資金繰り支援、販路開拓支援

〔主な数値目標〕 県の支援により生産性が向上した小規模企業者数

9 農林水産業の振興

- マーケットインの視点での生産力の強化
 - ・消費者ニーズに対応した生産の促進
 - ・DXの推進による高品質・高収量・省力化の実現（デジタルデータ利活用、スマート技術・機械導入）、生産基盤強化と集約化・大規模化の推進
 - ・資源の循環利用を通じた県産木材の供給拡大、海や河川の特性に応じた漁場や資源づくりの推進

〔主な数値目標〕 デジタルデータを活用した経営を行う経営体数
- 「選ばれる福岡県」に向けてブランド力強化、販売の促進
 - ・世界への「福岡の食」の魅力発信と輸出の拡大（輸出先の市場ニーズ把握の強化、輸出向け産地の拡大）
 - ・県独自品種・新技術の開発・普及の加速
 - ・「福岡の食」の認知度向上と販売促進（首都圏・関西圏等向け対策）、新たな木材需要獲得による県産木材の利用推進

〔主な数値目標〕 福岡フェア等における県産食材の取扱高
- 農林水産業の次代を担う人材の育成
 - ・農林漁業者の経営発展の推進（農業大学校を拠点としたリカレント教育の導入、経営複合化・法人化等の推進）
 - ・産地での受入体制強化による新規就業者の確保・定着促進（農大機能強化、トレーニングファーム等の整備）
 - ・女性農林漁業者の能力発揮の促進、農福連携の推進

〔主な数値目標〕 新規就業者数（農林水産業）
- 持続可能な農林水産業に向けたワンヘルスの推進
 - ・ワンヘルスの実践につながる地産地消や食育の推進（認証制度を通じた理解促進）、心や身体の健康づくりに向けた森林等の利用推進、環境に配慮した生産と食の安全・安心の推進
 - ・動物と保健衛生の一元化と家畜防疫の強化（動物保健衛生所設置による人獣共通感染症への対応力の強化、家畜防疫対策）

〔主な数値目標〕 ワンヘルスの実践に取り組む経営体数

10 地域と調和した観光産業の振興

- ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた観光産業の高付加価値化
 - ・観光産業の生産性向上・収益性の向上（「新たな旅のスタイル」への対応、施設整備・改修支援）
 - ・新たな事業展開の支援（古民家、グランピング）、誰もが快適に観光できる基盤整備（外国人支援、ユニバーサルデザイン）

〔主な数値目標〕 旅行消費単価（日本人、通常入国外国人）
- 広域ルートの設定・新たな観光エリアの創出による旅行消費の拡大
 - ・魅力ある観光資源の発掘、磨き上げ・活用（新たな観光エリア創出）、安全安心な受入環境整備（オーバーツーリズム対策）
 - ・体験、交流、滞在型観光の推進（ニューツーリズム推進、九州・山口一体となったサイクルツーリズム推進）

〔主な数値目標〕 リピーター率
- デジタルマーケティングの強化
 - ・SNS等を活用したプロモーションの推進（トラベルライフサイクルの各段階に対応したプロモーション）
 - ・デジタルデータの分析・活用（観光客の傾向・行動分析によるWebサイトの改善や新たな施策への活用）

〔主な数値目標〕 県の観光情報SNSフォロワー数（国内向け、海外向け）
- マーケティングに基づく戦略的な国内外からの誘客・県内周遊の促進
 - ・観光事業者や市町村と連携した誘客・広域周遊の促進（修学旅行・MICE誘致）、九州一体となった誘客の促進
 - ・ターゲットに合わせた情報発信（アンテナレストラン「福扇華」の活用）、国際航空路線の誘致

〔主な数値目標〕 延べ宿泊者数（日本人、外国人）
- 観光人材の育成、観光組織体制の強化
 - ・各地域の観光を支える人づくり、県内の観光関連団体の機能強化（観光地域づくり法人(DMO)登録推進）
 - ・九州観光推進機構との連携、市町村と連携した観光振興と宿泊税の活用

〔主な数値目標〕 観光地域づくり法人及び観光地域づくり候補法人の数

11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり

- 産業・企業ニーズを踏まえた人材育成・定着支援
 - ・産業・企業や地域のニーズを踏まえた人材育成の推進、DX人材育成の強化（専門人材及びICTリテラシーの高い人材育成）
 - ・人材不足分野（介護・福祉、建設、運輸、農林水産等）での人材の確保・育成・定着に向けた支援、技能の継承・振興

〔主な数値目標〕 高等技術専門校の就職率

- 求職者（若者、女性、中高年、高齢者、障がいのある人）の状況に応じたきめ細かな就職支援
 - ・年代別・対象別就職支援センターによる就職・就業支援（若者：Web活用型就職支援の強化、女性：Web面談強化、中高年：市町村との連携による出張相談強化、高齢者：きめ細かな就業支援、障がいのある人：マッチングの強化）
 - ・障がい者テレワークオフィスの利用促進

〔主な数値目標〕若者就職支援センター就職率、県内民間企業における障がい者雇用率

- 誰もが安心して活躍できる魅力ある職場づくり
 - ・魅力ある職場づくりの促進（県内4地域での企業支援、よかばい・かえるばい企業の拡大）
 - ・仕事と家庭の両立支援（男性の育児休業取得・育児参加促進、介護離職防止）
 - ・働く場における女性の活躍推進（経済団体等と連携した女性の人材育成・登用、女性の経営参画の支援）
 - ・テレワーク活用促進、多様な就労機会の創出（労働者協同組合法周知、就労困難者が活躍できる場の創出）

〔主な数値目標〕子育て応援宣言企業の従業員の育児休業取得率（男性）

1.2 健康づくり、安心して質の高い医療の提供 ※感染症対策は2.7に記載

- 健康づくりの推進による健康寿命の延伸
 - ・健康づくり県民運動の推進（健（検）診受診率の向上、食生活の改善、運動習慣の定着）、たばこ対策の推進
 - ・歯科口腔保健の推進（オーラルフレイル対策）

〔主な数値目標〕平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

- こころの健康づくりの推進
 - ・自殺対策（ゲートキーパー養成、自殺ハイリスク者支援体制の整備）、依存症対策（アルコール・薬物依存症対策）
 - ・ひきこもり状態にある人への支援（ひきこもり地域支援センターにおける支援）

〔主な数値目標〕自殺死亡率

- がん、難病対策の推進
 - ・患者本位のがん医療の実現、尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築、働く世代のがん患者支援の充実
 - ・難病及び小児慢性特定疾病を有する方の生活の質の維持向上、難病に関する医療提供体制の確保

〔主な数値目標〕がんの75歳未満年齢調整死亡率

- 医療提供体制の確保・医療保険制度の安定的な運営
 - ・地域医療構想の推進、救急医療体制の確保、在宅医療の推進、医薬品等の安全確保、医療費適正化
 - ・医療・看護を担う人材確保と資質の向上（医師の偏在解消、働き方改革支援、看護職員養成・離職防止・再就職支援）

〔主な数値目標〕ジェネリック医薬品普及率

1.3 スポーツ立県福岡の実現

- ・スポーツ活動の推進（福岡県民スポーツ大会、福岡県障がい者スポーツ大会、総合型地域スポーツクラブ充実、アーバンスポーツ普及振興、学校における「1校1取組」運動、運動習慣の定着）
- ・スポーツを推進する人材の育成（タレント発掘、中央競技団体と連携した一貫指導、女性アスリート育成、強化活動の支援）
- ・障がい者スポーツの推進（福岡県民スポーツ大会障がい者の部の拡充、発掘・育成のシステム構築、障がい者アスリート強化活動の支援）
- ・スポーツを推進する環境づくり（誰もがスポーツ活動を行える施設整備、新福岡武道館整備、プロスポーツチーム等との連携）
- ・スポーツを通じた地域経済の活性化（スポーツビジネス創出に向けたスポーツコミッションの能化強化）

〔主な数値目標〕スポーツイベント開催件数

1.4 文化芸術の振興

- ・文化芸術活動の推進（ふくおか県民文化祭、アウトリーチ活動、世界遺産等の継承・保存、伝統工芸の継承・発展）
- ・文化芸術を育む人材の育成（県有文化施設等を活用した人材育成、伝統芸能・伝統工芸の後継者育成）
- ・障がいのある人の文化芸術活動の推進（県障がい者文化芸術活動支援センター、障がい者アートレンタル）
- ・文化芸術に親しむ環境づくり（新県立美術館整備推進、文化芸術に関する情報発信）
- ・文化芸術を活用した地域の活性化（世界文化遺産等を活用した文化観光、文化芸術を通じた国際交流）

〔主な数値目標〕文化芸術を直接鑑賞した県民の割合

1.5 ジェンダー平等の社会づくり

- ・ジェンダー平等・男女共同参画の推進（家庭・社会活動・学校教育等における男女共同参画推進、様々な政策・方針決定過程への女性の参画推進、アンコンシャス・バイアスの理解促進、ジェンダー平等の理念の政策への反映）
- ・誰もが安心して暮らせる環境づくり（DV等暴力の根絶・ハラスメントの防止、性の多様性についての正しい理解と認識、防災・復興における男女共同参画の推進）

〔主な数値目標〕自治会長における女性の割合

1.6 高齢者、障がいのある人への支援

- 高齢者の活躍応援
 - ・70歳現役社会づくり（年齢と関わりなく働ける企業の拡大、地域活動・ソーシャルビジネス参加支援）
 - ・高齢者の生きがいづくり（生きがい・仲間づくり）

〔主な数値目標〕70歳現役応援センターによる進路決定者数
- 地域包括ケアの推進
 - ・地域包括支援センターの機能強化、認知症対策の推進、地域で支え合う体制づくりの推進、安心して生活できる住まいの確保
 - ・高齢者の権利擁護（身体拘束廃止、成年後見制度の普及促進）、介護予防の促進

〔主な数値目標〕県内高齢者施設等における虐待発生率
- 介護サービスの確保
 - ・供給量の確保及びサービスの質の向上、介護給付の適正化
 - ・介護人材の確保・定着、資質の向上（外国人介護士の学習支援、介護職員処遇改善、介護ロボット導入促進）

〔主な数値目標〕介護職員の増加数
- 障がいのある人の生活支援
 - ・差別解消、権利擁護、地域生活支援（多様なニーズに対応する生活支援体制の整備）
 - ・障がいの特性に応じた就労支援（収入向上、商工団体や農業団体との連携）、福祉のまちづくりの推進（バリアフリー化）
 - ・福祉のまちづくり（ユニバーサルデザインのまちづくり）

〔主な数値目標〕障がいのある人の平均収入月額

1.7 社会的・経済的に厳しい状況にある方への支援

- DV防止対策及び被害者支援
 - ・配偶者や交際相手からの暴力防止対策及び被害者支援（配偶者暴力相談支援センター、市町村等との連携）
 - ・ストーカー対策（指導警告・禁止命令、被害者・親族の安全対策、再犯・再被害の防止）

〔主な数値目標〕DV被害者支援に関する庁内連絡会議を設置した市町村数
- 子どもの貧困対策の推進
 - ・教育の支援、生活の安定のための支援（子ども支援オフィスでの相談支援）
 - ・保護者に対する就労の支援（不本意非正規雇用労働者の正社員転換支援）、経済的支援

〔主な数値目標〕生活保護世帯に属する子ども（高等学校等卒業後）の大学等進学率
- ひとり親家庭の支援
 - ・生活と子育ての支援（家庭生活支援員派遣）、就業支援（ひとり親サポートセンターにおける支援）
 - ・養育費の確保（無料法律相談）、経済的支援

〔主な数値目標〕ひとり親サポートセンター登録者の就職率
- 生活困窮者等の支援
 - ・生活保護受給者等の自立支援・適正実施（自立相談支援事務所での相談支援、医療扶助適正化）
 - ・中国帰国者及び戦傷病者等の援護

〔主な数値目標〕頻回受診指導対象者に係る改善者割合

1.8 人権が尊重される心豊かな社会づくり

- ・人権尊重の意識や行動の定着（学校教育における人権教育推進、人権啓発情報センターにおける啓発）
 - ・人権施策の推進（同和問題（部落差別）の解決、女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国人・性的少数者・HIV感染者・ハンセン病患者、ホームレス等の人権尊重、新型コロナウイルス感染症やインターネットによる人権侵害防止）
- 〔主な数値目標〕県人権啓発情報センター来館者数

1.9 外国人材に選ばれる地域づくり

- 外国人材が活躍できる地域づくり
 - ・外国人材が安全・快適に生活できる環境整備（相談窓口設置、医療案内・通訳支援、技能実習生等・外国人児童生徒への日本語教育、インターナショナルスクールへの支援）
 - ・外国人材が働きやすい環境整備（外国人材の適正な労働環境の確保、留学生の県内企業への就職支援）
 - ・外国人材の地域社会への参加促進（国際交流団体活動支援、地域における外国人材と地域社会をつなぐ人材育成）

〔主な数値目標〕留学生の県内企業就職者数
- 海外との地域間交流・国際貢献の推進
 - ・地域間交流・連携（姉妹提携・友好提携に基づく交流）、国際協力・貢献の推進（環境人材育成・技術交流、ハビタットへの支援を通じたアジア太平洋地域のまちづくりへの貢献）
 - ・国際的に活躍する人材の育成（友好提携地域・海外県人会・元留学生会・ハビタットとの連携による人材育成）

〔主な数値目標〕県及び県内市町村と海外自治体等との継続的な国際交流事業の件数

20 安全で安心して暮らせる地域づくり

- 暴力団壊滅、飲酒運転撲滅及び性暴力根絶の対策の推進
 - ・暴力団壊滅に向けた対策（未解決重要事件の検挙、証人等に対する保護対策、官民一体となった暴力団排除活動）
 - ・飲酒運転撲滅対策（「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」に基づく取組の着実な推進、飲酒運転の徹底検挙）
 - ・性暴力根絶対策（性暴力対策アドバイザー派遣、加害者の再犯防止対策、予防・検挙対策）

〔主な数値目標〕 性犯罪認知件数

- 犯罪や事故のない地域づくりの推進
 - ・県民の身近で発生する犯罪の抑止（ニセ電話詐欺等）、サイバー空間安全確保、薬物乱用防止、再犯防止、犯罪被害者支援（福岡犯罪被害者総合サポートセンター等における支援）
 - ・交通安全対策（子供と高齢者の安全を確保するための交通事故抑止対策の推進、自転車の安全で適正な利用の促進）

〔主な数値目標〕 刑法犯認知件数

- 暮らし・食品の安全の推進
 - ・消費生活の安全・安心の確保、生活衛生の安全・安心の確保、産業保安の確保
 - ・生産から販売に至る一貫した食品の安全・安心の確保（食品表示適正化、HACCPに沿った衛生管理、GAP認証取得）

〔主な数値目標〕 国際水準GAPの認証取得数

21 地域の活力向上

- ・地域の基幹産業振興・雇用創出（企業誘致、農林水産業の振興）、中山間・過疎地域の活力の向上（企業や都市住民との交流、鳥獣被害対策）
- ・地域を支える人材の育成・確保（田川飛翔塾の県内各地域への展開、観光産業人材の育成）、地域おこし協力隊制度の活用、地域コミュニティの活性化
- ・地域公共交通の維持・確保（バスの維持・広域化、新たなモビリティサービスの活用、地域鉄道の安全確保、地域公共交通利用促進）
- ・道路ネットワークの形成（都市と地域を結ぶ道路網の充実、生活の利便性・安全性を高める道路整備）、持続可能な都市づくり

〔主な数値目標〕 人口の社会減の数値が改善した圏域数

22 共助社会づくり、生涯学習の推進

- NPO・ボランティア団体等多様な主体の協働の推進
 - ・NPO・ボランティアとの協働の推進、活動基盤強化（資金確保支援）、災害ボランティア活動推進
 - ・企業との協働の推進（企業との包括提携の拡大、新たな取組の創出）

〔主な数値目標〕 NPO・ボランティアと県との協働事業件数

- 生涯学習の推進
 - ・個人学習の推進（誰もが身近に生涯学習に取り組める環境づくり、文化施設の充実・活用）
 - ・社会人の学び直しの推進（県立3大学・農業大学校リカレント導入、大学等と連携したDX人材育成プログラム構築）
 - ・社会教育の推進（ICT利活用等多様な学習機会の提供、学校・家庭・地域の連携・協働体制の整備）

〔主な数値目標〕 県立図書館の図書貸出冊数

23 快適な環境の維持、保全

- 循環型社会の推進
 - ・資源循環利用の推進（「ふくおかプラスチック資源循環憲章」に定めた取組、3R推進、リサイクル技術研究開発）
 - ・廃棄物の適正処理による環境負荷の低減（実態把握、改善指導、海岸漂着物等の対策、ICT活用による監視指導）

〔主な数値目標〕 廃棄物最終処分量（一般、産業）、リサイクル技術の実用化件数

- 自然との共生と快適な生活環境の形成
 - ・生物多様性の保全と持続可能な利用（ワンヘルスを踏まえた里地里山の保全、グリーンインフラを活用した自然共生地域づくり）
 - ・快適な生活環境の形成、美しいまちづくりの推進、動物愛護の推進

〔主な数値目標〕 生物多様性プラットフォームアクセス数、農地等の維持・保全に取り組む面積

24 教育の充実

- 学力・体力の向上
 - ・学力の向上（「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、小学校と中学校が連携した授業の質の向上、外国語能力の向上、放課後学習活動支援）
 - ・体力の向上（体を動かす習慣づくり）、健康教育の推進（専門医による性と心の健康相談、望ましい生活習慣の定着）

〔主な数値目標〕 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力中・上位層の構成割合が全国平均を上回る区分数（教育事務所別）

- 豊かな心の育成
 - ・ 道徳教育・人権教育の推進、実体験を重視した教育の推進、幼児教育・家庭教育支援の充実
 - ・ いじめや不登校等への対応、少年の非行防止と健全育成、インターネット適正利用の推進

〔主な数値目標〕 不登校から継続して登校できるようになった生徒の割合
- 個性や能力を伸ばす教育の推進
 - ・ 子ども本位の指導の推進、特別支援教育の推進、キャリア教育・職業教育の充実

〔主な数値目標〕 「科学の甲子園」全国大会における総合成績順位
- 教育環境づくり
 - ・ 今日的な教育ニーズへの対応（県立高校の特色化、プログラミング教育、STEAM教育、県立3大学の強みを活かした人材育成）、児童生徒の安全確保
 - ・ 学校教育のICT化（日常的なICT活用や災害時等の「学びの保障」）、教員の指導力・学校の組織力の向上（ICT活用指導力向上）

〔主な数値目標〕 災害時の児童生徒の引渡し手順・ルール策定率（公立小中学校）

2.5 出会い・結婚・出産・子育て支援

- 出会い・結婚応援の推進
 - ・ 多様な出会いの場の提供（企業・団体間マッチング支援センターによるマッチング強化、東京圏・関西圏も対象とした広域的な出会いの機会の提供）
 - ・ 出会いから結婚へつなげるための支援（ライフプラン教育の推進、個別相談によるフォローアップ）
 - ・ 九州・山口出会い結婚応援プロジェクトの推進（企業間・異業種間婚活推進、あかい糸めーる共同利用）

〔主な数値目標〕 合計特殊出生率
- 妊娠期から子育て期における切れ目ない支援の充実
 - ・ 周産期医療体制の確保、母子保健の充実
 - ・ 不妊に悩む人への支援、小児医療の充実

〔主な数値目標〕 産後ケア事業実施市町村数
- 子育てを応援する社会づくりの推進
 - ・ 幼児教育・保育サービスの量の拡大と質の向上（アドバイザー派遣、多様な保育の受け皿整備促進、保育士・保育所支援センター活用）、多様な保育ニーズへの対応（延長保育・病児保育等の充実、放課後児童支援員養成）
 - ・ 地域における子育て支援（地域子育て支援拠点設置促進、子ども食堂支援）、仕事と子育ての両立支援（男性の育児休業取得促進）

〔主な数値目標〕 保育所等利用待機児童数

2.6 きめ細かな対応が必要な子どもの支援

- 児童虐待防止対策の推進
 - ・ 児童相談所の体制強化、市町村と関係機関との役割分担及び連携の推進
 - ・ 発生予防から再発防止までの総合的な施策の推進

〔主な数値目標〕 子ども家庭総合支援拠点の設置数
- 特別な援助を必要とする子どもや家庭への支援
 - ・ 家庭と同様の環境における養育の推進（里親委託推進、児童養護施設機能強化）、子どもの自立支援の推進
 - ・ ヤングケアラーや困難を抱える子どもへの支援

〔主な数値目標〕 里親等委託率

基本方向 感染症や災害に負けない強靱な社会をつくる

2.7 感染症対策の推進

- ・ 感染症の発生予防・まん延防止対策の充実（関係機関との連携、医療提供体制強化、疫学調査・健康診断）
 - ・ 新型コロナウイルス感染症への取組（医療提供・検査体制の強化、感染防止対策推進（クラスター対策、飲食店認証制度普及）、ワクチン接種促進、「新しい生活様式」の実践や人権に関する普及啓発、治療薬の開発）
- 〔主な数値目標〕 全結核罹患率

2.8 災害からの復旧・復興、防災・減災、県土強靱化

- ・ 頻発する災害からの復旧（道路、河川、農地の復旧（原形復旧、改良復旧）、日田彦山線沿線の地域復興（BRTによる復旧、地域づくりと産業復興））
- ・ 流域治水等の推進（治水・治山・砂防・道路防災等の自然災害対策、県境地域を含む防災体制強化、浸水常襲地帯からの農業用ハウスの広域移転の促進）

- ・耐震化の推進（道路等インフラ施設、市町村庁舎、学校、災害拠点病院、住宅・その他特定建築物等）
- ・老朽化対策（道路、河川、砂防、港湾、上下水道等インフラ施設の予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策の推進）

〔主な数値目標〕「氾濫推定図」の作成・公表数

29 地域防災力と危機管理の強化

- ・地域防災力の向上（地域防災力の中核を担う人材育成、消防団員確保、高齢者・障がいのある人・在住外国人支援）
- ・災害対応力の強化（災害時応援協定の締結、災害時における医療提供体制の強化、避難所における感染防止対策、被災動物の保護・避難所での飼養、速やかな住宅支援、災害廃棄物処理体制の整備、原子力災害対策）

〔主な数値目標〕自主防災組織の組織率

基本方向 将来の発展を支える基盤をつくる

30 生活と産業の発展を支える社会基盤の整備

- 福岡空港・北九州空港の機能強化、鉄道ネットワークの強化
 - ・福岡空港の滑走路増設、アクセスの強化（戦略的な路線誘致、福岡高速3号線延伸）
 - ・北九州空港の滑走路延長（貨物拠点空港の実現、早朝深夜便・LCC誘致）
 - ・鉄道ネットワークの強化

〔主な数値目標〕北九州空港の利用者数、鉄道利用者数

- 道路・港湾の整備
 - ・下関北九州道路の実現
 - ・広域ネットワークの整備（高規格道路整備、基幹的道路網整備、交通アクセス機能の強化）
 - ・地域の自立促進のための道路網の整備（渋滞緩和、スマートIC・ICアクセス道路整備）
 - ・国際貿易を担うターミナル港湾や地方港湾の整備（苅田港・三池港における国際貿易ターミナルの整備、その他地方港湾の整備）

〔主な数値目標〕鳥栖朝倉線（味坂SIC（仮称）工区）の整備